建て方始まりました。

伝統構法は、一般のプレカットが1日で棟上げまでできるのと違い、棟上げまで約2週間を必要とします。

金物を使わず、木組みで行われるからです。

大黒柱が自立してます。
通常の工法では、考えられないことです。
なぜ、控え（倒れ止め）をしなくても、あんなに高い柱が自立できるのか。

その答えは足固めを施してあるからです。

この大黒柱は上部に差し鴨居を取り付けます。

柱の上下を側面から拘束することにより、地震時にS字にしなり、ねばります。
それだけでなく、この大黒柱1本で筋違いや、構造用合板をしのぐ耐力を発揮します。

木の復元力を生かしたつくりを行えば、金物や合板に頼らずとも、おのずと地震に耐えうる家になります。